

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会会報第十七号 - 2016 年 6 月 - 発行者 AAC OB 会理事会

「昭和 21 年の 6 月、何日だったかは忘れてしまった。」と初代主将中村太郎氏は岩燕に記しています。麻布学園山岳部誕生の日のことです。今年は、その日から 70 年目の節目の年にあたります。

定期総会

5 月 28 日 (土) 麻布学園の地学講義室にて、会員 21 名、現役 10 名の出席のもと通常総会が開催され、活動報告、役員人事、新会員、会則改正につき、以下のとおり承認されました。

■ 平成 27 年度一般会計

収入の部		支出の部	
会費収入 (過年度)	2,000	通信連絡費 (会報等)	64,619
会費収入	123,500	現役サポート交通費	19,740
親睦会等収入	15,923	ホームページ運営費	5,142
受取利息	30	会歳費	5,200
収入合計	141,453	支出合計	94,701

当期収支 46,752
前期剰余金 349,396
当期末剰余金 396,148

当期は黒字となりましたが、今後の現役の山行サポートを中心とした学生 OB の活動を充実させるために、年会費の改定など財政基盤を再検討していく必要があります。

■ 平成 27 年度山荘会計

収入の部		支出の部	
利用料収入	362,400	水道光熱費	139,273
受取利息	14	通信費	6,722
		支払保険料	16,560
		消耗品費	15,891
		支払手数料	1,188
		固定資産税等	64,300
		修繕費	90,000
		備品購入費	64,448
		雑費	4,030
収入合計	362,414	支出合計	402,412

当期収支 ▲ 39,998
前期剰余 989,255
当期末剰余 949,257

今期は水道漏れの修繕費がかさみ赤字となりました。みんなで山荘に集まり日頃行き届かない大掃除や修繕を楽しくやろうという趣旨の「山荘リフレッシュデー」を昨年からはじめました。今年は 9 月 3 日 (土)-4 日 (日) を予定しています。お手伝い頂ける方はもちろん、差し入れだけ、懇親会だけの参加もお待ちしております。

■ 人事

理事長に、太田弘一氏 (S47 卒) が就任し太田高嗣会長 (S43 卒) とダブル太田体制となりました。また、新理事に今春卒業の尾島暢彦氏 (H28 卒) が就任しました。

■ 会則改定

本会役員の任期の規定に関し、第 13 条 3 項「補欠または増員として新たに選出された役員の任期は、前任者または他の役員の任期の残存期間と同一とする。」が追加されました。

70 周年記念事業

70 周年記念事業実施につきましてはすでにご多くの方々から、暖かいご寄付を頂戴致しました。誠に有り難うございました。記念事業をさらに充実したものとすべく、引き続きご支援を頂きたいと存じます。

■ 記念式典

2016 年 11 月 26 日 (土) 17 時より、スクワール麹町 (四谷駅前) にて開催いたします。

■ 岩燕 X 号

最近十年の山行記録を中心に、多くの寄稿を頂き、二百数十ページに相成らんとしています。記念式典会場でお配りする予定です。

親睦山行

5 月最後の日曜日、OB と現役、保護者の方々との親睦を図るために親睦山行を実施しました。今回で 3 回目になる親睦山行、今年は好天に恵まれ奥多摩の高水三山を総勢 32 名で楽しく歩きました。



新理事長あいさつ



この度、理事長を仰せつかりました太田弘一 (S47 卒) です。

昨年は、太田高嗣さん (S43 卒) が会長と理事長を兼務され、OB 会の運営にご奮闘されておられましたので、若輩微力なれど一助になればと理事長をお引き受けした次第です。精一杯務めさせていただきます。

偶然にも、会長、理事長が同性の太田というややこしい事になりましたが、よろしければ小生は、ペンネームの Noppo 太田 (太田野歩) で呼んでください。

若手 OB が沢山参加して楽しめる企画をどんどん考えて実行していきたいと思っております。ご支援、ご協力、宜しくお願いいたします。

会員往来

横地泰英さん (S34 卒) がなくなられました。ご冥福をお祈りいたします。

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十七号 - 2016 年 6 月 - 発行者 AAC OB 会理事会

H28 年卒・新 OB より

本年は新卒 OB が 8 名新たに OB 会員に加わりました。

■ **尾島暢彦** - 山岳部では、貴重な経験と何より大切な仲間を得させていただきました。部長もさせていただき、感謝の想いで一杯です。最後の合宿で行けなかったトムラウシ山には、いつか同輩と行きたいですね。

■ **吉田直樹** - 現在は千葉大学医学部医学科に進学しています。現役時代はあまり体力がなく、かなり先輩方にご迷惑をお掛けした思い出がありますが、今後は皆様のお役に立てるよう努力いたします。以後よろしく願います。

■ **山崎諒太** - 中3夏合宿の北アルプスから高2夏合宿の大雪山まで、参加した毎回の山行の思い出が鮮明に思い出されます。今後とも友達と山に行く機会を持ち続けられたらいいなと思います。

■ **楊 欣海** - 私はこの山岳部で、フィールドに出て自然と向き合う楽しさを教えてもらいました。これからはたまに近場の山に友人と登りつつ、撤退に終わってしまったトムラウシ山にいつか再挑戦するつもりです。

■ **寺元 亮** - 中3から山岳部に入学し高二では MOUN 展の展示責任者をさせていただきました。今年は浪人してしまったため山には当分登れないと思います。

■ **永川直道** - 中一の初期から山岳部に入り四年と半年、山に登って来ました。浪人が終わり大学に入ったら別のスポーツに重きを置こうと思っておりますが、山岳部の皆さんとの付き合いは続けたいと思っております。

■ **難波啓太** - 大学に無事合格して基礎体力を戻したら、北アルプス縦走に挑戦したいと考えています。



上は 2014 年夏合宿 (大雪山) の写真で、前列右から尾島、難波、永川、寺元、楊。後列右から山崎、吉田、**茂木武統** (彼も OB 会新会員です)。

新特別会員より

■ 後藤栄作

太田新理事長に 20 年近く公私ともお世話になっているものですが、たまたま AAC 八ヶ岳山荘へお供したのがきっかけで、無縁と思っていた山登りにどっぷりと浸る事となりました。お気楽登山しか知らないため、漏れ聞く体育会系の厳しさには思いを馳せるのみですが、引き継がれている何か楽しげなものも感じております。折角にご縁を頂きましたので山行雪行を含め今後とも関わりを頂ければと思っております。どうぞよろしく願います。

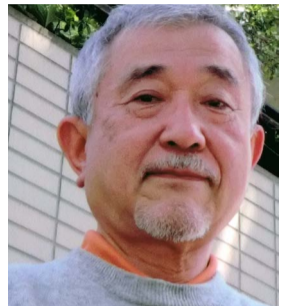


会員投稿

今号では卒業年度が「3」で終わる OB に投稿を依頼しました。

■ 佐久間義敬 (S33 卒)

山にはすっかりご無沙汰の OB ですが、AAC のマークをデザインした佐久間です。七十歳でデザイン稼業を退いて、今はもっぱらお絵描き三昧。時々銀座で個展を開いたり、グループ展にも出したりで、頭の中は年中アート漬け。それでも冬場はスキーに 2~3 回、時にコルチナやマッターホルンにまで出向いています。今年で喜寿を迎えるけれど、最新のタニタの体重計によると肉体年齢はまだ六十歳！腕立て伏せは 30 回、スキーは 1 級をキープして居りますゾ！これも昔、山で他人に遅れを取るまいと競い合った懐かしき仲間達のお蔭です。AAC よ永遠なれ！



■ 三島秀介 (S33 卒)

いま私は「日本オオカミ協会」に所属し、日本にオオカミを復活させる活動に注力しています。明治末期の 1905 年迄日本にはオオカミが生存し、人を襲うこともなく、森林生態系を守る役目を果たしていた。しかし、明治政府は国家神道を強力に遂行するため、山の神と崇められていた狼を邪魔として全国で廃絶させた。その報いが百年後の今日、全国の山林、里山が鹿の異常繁殖のため樹木が喰われ、土壌崩壊が進行している。山が好きな皆さんは是非この惨状を考えて下さい。狼は生態系の中で頂点捕食者として、シカ等山の動物の数を調節する機能を持つ動物です。日本山岳会はこの狼復活運動に賛同せず、山野が荒れるのを無視しています。不思議だ。

■ 太田高嗣 (S43 卒)

社会人になっていつしか OB 会とも疎遠になり 40 年程たったある日、職場に鈴木順二君から電話がありました。50 歳を過ぎて、時々奥多摩あたりの山に登り始めていましたが、この電話で一週に懐かしさがこみあげ OB 会に顔を出すようになり、現在、会長を仰せつかっています。



山岳部も部員数が増加しうれしい限りです。これに合わせて、年々若手の OB 諸君も積極的に活動に加わってくれています。これから OB 会も若手中心の組織として新しい伝統を作って行けたらばと考えています。長かったサラリーマン生活もあと一年で終わる予定です。その後のことはこれからですが、東京オリンピックに向けて何かにチャレンジしたいと考えています。



麻布学園山岳部ホームページ
<http://www.a-a-c.net/>

最新情報は
こちらへ！



麻布学園山岳部現役ブログ
<http://geneki.a-a-c.net/>



麻布学園山岳部 OB 会事務局・藤田信一